



保冷トラックの中は何 ぐらいなの

ふつうの温度からマイナス40 ぐらいまで

あなたは、道路を保冷車が走っているのを見たことがありますか。トラックの後ろの荷台部分に大きな四角い箱を積んでいますね。

保冷車は、ものを冷やす装置をもっていない、荷台を低温に保つくりにしたトラックです。保冷車は、肉・魚・野菜などの生鮮食料品や冷凍食品などを運んでいます。生鮮食料品などは、鮮度をおとすことなく、冷温で輸送する必要があるため、断熱効果をもつ保冷車で運ぶのです。

保冷車の温度は、特別に中を冷やす装置をもっていないので、常温（ふつうの温度）です。この保冷車は、魔法びんのようなものです。

なお、冷蔵装置をつけたトラックもあり、この場合は、温度は0 ぐらいです。

さらに、冷凍装置をつけたトラックは、マイナス20 ぐらいまで冷凍することができます。

冷蔵装置や冷凍装置の能力は、トラックの大きさによってちがひ、マイナス40 で運ぶことができる冷凍車もあります。

いろいろなトラック

トラックには、いろいろな種類があります。大きな荷物を運ぶトレーラー、鉄道や船との荷物の受けわたしが楽なコンテナ車、食品を冷温のまま運べる保冷車、石油などの液体をそのまま運ぶタンクローリー車、自動車を運ぶ車両運搬車（キャリアカー）などがあります。トラックの中には、荷台の側面が鳥のつばさ（ウイング）のようにはね上がり、荷物の積み下ろしが簡単にできるウイング車などもあります。（監修・保岡 孝之）

